

請 願 文 書 表

(令和3年3月19日)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>受理番号・受理年月日及び件名</p>          | <p>請願第12号 (3. 3. 11)<br/>消費税率を5%へ引き下げを要請する意見書提出を求める請願</p>   |
| <p>請 願 の 要 旨</p>               | <p>安倍前政権の下で2度にわたる消費税増税が強行され、日本経済は低迷している。更に新型コロナウイルス感染症の拡大によって、命と健康の不安、未曾有の経済危機が国民の暮らしと日本経済に暗い影を落としている。</p> <p>令和2年の国内総生産（GDP）の実質成長率はマイナス4.8%となった。</p> <p>消費税は、所得の少ない人ほど負担が重く、赤字経営の事業者にも容赦なくかかるなど不公平な税制で、本来は廃止すべき税金である。</p> <p>現在、コロナ禍の中、世界の56の国と地域において、日本の消費税に当たる付加価値税が減税されており、事業者と消費者の税負担を軽減し、事業継続を支え雇用を守る有効な景気対策として評価されている。</p> <p>日本国憲法は、応能負担原則にのっとりた税制の確立を要請している。消費税に頼るのではなく、税金の集め方と使い方を見直すことで財源を確保することは可能である。内部留保をため込む大企業や、株で大儲けする富裕層を優遇する不公平税制を正すべきである。</p> <p>住民の暮らし、地域経済、地方自治体に深刻な打撃を与える消費税の税率を5%に引き下げを要請する意見書を政府に提出するよう請願する。</p> |
| <p>請 願 者 の 住 所<br/>及 び 氏 名</p> | <p>神戸市兵庫区<br/>消費税をなくす兵庫の会<br/>代表者 藤原紀嘉</p>  |
| <p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>           | <p>(代表) 今井まさこ あわはら 富夫</p>   |
| <p>付 託 委 員 会</p>               | <p>総務財政委員会</p>  |